

Rosa Plumula

ローザ・プルムラ



●茨城大学・大学教育研究開発センター

ニュースレター №8

目次

| | |
|-----------------------------------|----|
| 巻頭言 | 1 |
| はじめまして！ 「大学教育研究開発センター」です | 1 |
| 私たちががんばっています — 専門部会便り — | 2 |
| キャンパス情報 | 5 |
| 新入生へ愛をこめて … 先輩からの言葉 | 7 |
| Voice — 主題別ゼミナールについて — | 9 |
| 教養教育古今東西 | 10 |
| 掲示板コーナー | 11 |
| 教養教育NOW | 12 |

(平成 10 年 4 月発行)

「いかに美しいことか、山々を行き巡り、良い知らせを伝える者の足は。」(バイブル、イザヤ書)。良い知らせを伝えるため山々をかけ巡る人の足音は明るい希望に満ちた響きを持って伝わってきます。ローザ・プルムラは野いばらのようにみずみずしく成長するフレッシュマン向けのニュースレターです。年4回発行されていますが、これが喜ばしいよい知らせを満載し、若者に心地よく伝わるようにと企画されています。1月のテレビ番組で、ある司会者が今は二つの「コ」、すなわち「弧」と「個」の時代であることを若者に語っていましたが、若者の顔がどうやったらいいのかわからない様子になっていたのが印象的でした。岩は堅固なものや強いものの例えにつかわれます。岩の基本構造はSiを中心にしてそのまわりにOが4個配置しているSiO₄四面体構造ですが、この4つの酸素原子すべてが他の四面体を共有して連なり三次元骨格構造になっています。これで風雪の厳しい自然環境に耐えることができるのです。ここで「共有」という語が非常に重要で、これがないと岩は崩れてしまいます。ローザ・プルムラにはたくさんの「共有」なるものが載っています。「弧」や「個」に悩むとき、ローザ・プルムラを開いて、お互い同志、分かち合えるものを見だし、がっしりした骨組み構造を築き上げていこうではありませんか。

(百瀬)

はじめまして！「大学教育研究開発センター」です

新入生のみなさん入学おめでとう。

大学はまことに多くの分野の専門家が集まっている機関です。美術、音楽の専門家から、法律、行政の専門家、また、アシナガバチ、草原の専門家から、宇宙のブラックホールまで実に多種多様な専門家がいます。もちろん、フランス文学、国文学、数学、都市計画、超精密工学、分子生物学等々の専門家もいます。かぞえ始めると切りがないほどになります。茨城大学には、500名を越える専門家、研究者がいます。まさに森羅万象を研究教育する機関、University(総合大学)と云えます。

みなさんは、各々専門的な知識、学問を修得すべく

各専門学部に入りました。これから4年間を通して専門的な教育を受けることとなります。また、同時に各専門分野の社会人たる教養的素養も身につけることとなります。社会、科学などの発展により、一つ一つの仕事の内容の変化が素早くなり、仕事に関連する事項は多岐にわたるようになっていきます。これに応じて人とのつながりも広範囲になっています。これまでは、一つの専門的職業に専念することで済んでいたことが、これからは関連する周囲の状況に応じて切り開いていく対応能力が求められます。これらの能力は、関連する広い範囲の基本的知識と人と社会システムに対する総合的判断力の蓄積によって育成されるものです。

まず、大学では、各分野で蓄積され体系化された知識の基本的素養を修得することが必要です。また、国際化、情報化社会での基本的素養としての語学力、情報処理能力を修得することも必要です。人は体力があってこそ、楽しみ仕事もできることから、身体運動の体験学習をとおして心身の調和と健康管理の基本的技術や知識を修得することも必要でしょう。

これらこれからの社会人として有益となる教養教育は、当「大学教育研究開発センター」が全学の教官の協力を得て担当します。先にも述べましたように、実に広範囲の専門家が多数参加し授業が行われます。教養教育では、入学した学部の専門教官のみならず、茨城大学各学部の教官からその分野の基本的な知識と考え方を学ぶことができます。大学教官は各分野の専門家であることから、授業は厳格に行われ近寄り難い雰囲気をもっていますが、授業の終わった後などに話しかけてみてください。本来話好きですから、喜んで相

手になってくれるでしょう。教養科目の受講の機会に他分野の教官を知るのも悪くありませんよ。また、教養教育では受講科目の選択の幅を広くするためにバンド制を設けています。一つのクラスに人文、教育、理工、農の学生がいきり混じって受講することがあります。大学生にもなると専門の志向に応じてそれなり特有の雰囲気を持ち始めます。他学部の学生を知るのも悪くありません。

大学教育研究開発センターでは本誌の発行をはじめ、教養科目の履修案内、履修登録、履修相談などを行っています。分からないこと、不明な点があったときには気軽に教養教育係に相談してください。教養教育係は、共通教育棟1号館1階にあります。また、ここには、工学部、農学部教官の控室があり、工・農学部の学生向けの学生相談室が設置されています。ここも気軽に利用してください。
(横沢)

私たちががんばっています — 専門部会だより —

外国語科目専門部会

教養教育をめぐる

専門部会の紹介というよりも、外国語を含む一般教養、殊に人文主義的教養について書いてみたい。

日本の大学は欧米の大学をまねて作られてきたが、両者の実態は相当に違うようである。大きな相違のひとつは、欧米の伝統ある大学では、ギリシア・ローマの古典を中心とする人文主義的教育が、昔ほどではないとしても、依然として相当重視されているのに対して、日本の大学では、当初から、国家や社会の要請に直接応える専門の技術的教育が大きな比重を持ってきたことであろう。

これにはやむを得ない事情もあった。明治政府は、日本の被植民地化を避けるために、「富国強兵」「殖産興業」をスローガンとして掲げ、大学も、全体としては、そういった国家的要請に応えることに努め、科

学技術を取り入れることは盛んに行われてきたが、西欧精神の根源にまでさかのぼって深く学ぶことはごく片隅でしか行われてこなかった。当時あっては当の西洋文明自体が実証主義に支配されていたという事情もこの傾向に拍車をかけた。こうして、目で見、手で触れることのできる世界が真実の世界であり、科学的真理こそが真理であって、科学技術が人類の進歩と幸福を約束するといった考え方が日本の大学に深く根を下ろすこととなり、今日に至っていると言ってよい。

専門の技術的教育は勿論大切である。しかし、いずれの専門に進むにせよ、人文主義的素養を欠いてはならないだろう。ソクラテスは、魂（人間の中核的部分である知的・倫理的人格）をできるだけ善いものにするのが大切だと説いた。それは、この世で金銭その他のものが人間のために善いものとなるのは魂の善さによるからだというだけのことではないだろう。魂が不死であるとすれば、死んで肉体が滅びた時に人間が

かの世に携えて行くことができるのは自分自身の教育された魂だけであるからでもあるだろう。人文主義的素養はこの世の事柄を永遠の相の下に見ることをも教えるだろう。(高橋)

健康・スポーツ科目専門部会

平成9年度の健康・スポーツ科目専門部会は、日下(部会長)、大島(人文学部)、勝本(教育学部)、折山(理学部)、小檜山(工学部)、佐合(農学部)のメンバーで構成されている。

健康・スポーツ科目のカリキュラムは、従来より、目的、単位数、履修方法・内容・構成などの基本的枠組みが定まっており、その理念に沿って運営されている。したがって、今年度の大きな課題は、時代に応じた新しい教科書づくり、より良い授業のための点検評価、そして体育施設・設備の管理体制の充実がその主なものであった。

教科書づくりは、授業に携わる全ての専任教官の協力で、現在、その構成ができ上がり、平成10年度の夏には完成する予定である。授業の点検評価は、従来通り、各授業の最後の時間に学生に細部に至る評価を行ってもらい、その都度、授業改善の重要な資料にしている。また、施設・設備の管理体制の問題は、特に、工学部や農学部の状況把握と改善のための方法を模索しているが、タコ足大学の予算配分の問題もあり、全学的な合理的な管理・運営体制の確立を強く要望しているところである。

……………学生の健康と豊かなスポーツ生活を願って。
(日下)

情報関連科目専門部会

コンピュータに興味がありますか？

本学では、情報処理の技術をすべての人に修得してもらおうと情報関連科目を必修にして3年目になりま

した。Windows 95の操作や電子メールのやりとり、ホームページの作成などが授業で講義されるようになってきています。皆さんがネットワークの世界にどんどんはいついてけるようになってきているのです。また、授業中に発生するコンピュータトラブルや皆さんの質問に、数名の大学院生がすぐに対応してくれるので、初心者にも安心です。このような環境を情報関連専門部会が支えています。また、アンケート調査などで皆さんの声を聞こうと耳をすませています。

1年次に情報関連科目が開講されていない学部の皆さんで、早くコンピュータに親しみたいとうずうずしている人や、コンピュータに少し自信があるんだと思っている人はいませんか？ご安心ください。夏休みに(9月下旬予定)に集中講義が開講されます。基礎からインターネットの仕組み、電子メールの仕組み、フリーソフトのインストールなど、ちょっと詳しい解説までが講義されます。

これらの講義がより進んだ情報処理技術を身につけるきっかけになればと願っています。(仙波)

人文科目専門部会

「教養教育なんて、なにか役にたつのかな……。専門教育なら将来の仕事にいかせるのかわかるけど……」なんて、考える人もいるかもしれません。でも教養教育があるからこそ大学です。すぐに役立つかもしれないけども、今までとは異なる考え方に触れ、ものを考える視野を拓けてゆくのが教養教育です。特に、人文科目の多くは、速効性のある薬のように効くものではありません。ずっと「服用」していると、じわじわ効いてきて、ある時、効いてきたかなと思わせるような、そんな学問です。人文科目のなかには、高校まででなじみのある歴史や文学、また、どのように研究しているのかと期待をいだかせる心理学やコミュニケーション論などがあります。でもなじみのあるものもないものも、覚えることに意味があったこれまでの学び方とは違って、これからは、なぜそうなるのか、

どのように考えて行くべきかということに、時間をかけて大いに悩んで下さい。

また、教養教育は1年次で終わるものではありません。専門以外のことにも目を向ける姿勢をずっともって、チャレンジしてみてください。工学部・農学部の学生のために、2年次以降も人文科目が履修できるよう、計画を進めています。人文科目を学ぶことを通じて、今まで教えられた「常識」を疑い、新たな視点を見いだしてくれたらと願っています。(植野)

社会科目専門部会

新入生諸君、入学おめでとう。諸君は、20世紀にこの茨城大学に入学し、21世紀に卒業するはずである。いわゆる「世紀末」を在学中に経験することになったわけである。21世紀をそれぞれの分野で担うことになる諸君にとって、これから始まる大学生活はその下準備の時間といってもよいであろう。そして、不透明の時代といわれる、この時期、社会の分野の授業は、諸君の思想形成や、はたまた人生設計になんらかの指針を提供してくれるであろう。専門科目のハードな時間に飛び込む前に、ほんのチョットの時間、自分を取り巻く「社会」の姿を見つめてみようではないか。

- ◇ 金融ビッグバンの意味を知りたい君(きみ)は、経済学の教室のドアをたたけ。
- ◇ 迫りくる高齢化社会や地域社会の在り方に興味のある君、社会学や人文地理学の講義に耳を傾けよ。
- ◇ 政・官・財癒着に憤る君、政治学の講義がそのしぐみを解明してくれるだろう。
- ◇ 日本の経営や商品流通の現在を知りたい君、経営学の講義がそれに役立つだろう。
- ◇ 国家の在り方や人権侵害に疑問をもっている君には、日本国憲法・法学の講義がヒントを与えてくれるに違いない。
- ◇ 社会思想史の講義は、歴史的パースペクティブで社会の見方の変遷を説き明かしてくれるであろう。

扉を開けなければ新しい世界には入れない。では、教室でお会いしましょう。(飯塚)

自然科目専門部会

自然科目には、主として高校で勉強した数学、理科に関連する科目が含まれています。

文系に数学は要らないと考えている人が、以前見受けられました。将来の可能性をみずから放棄しているようなものです。これからの時代には、微分積分などの知識をもつ文系の卒業生が活躍するかもしれません。

入試制度の改革により、理工系でも理科1科目の選択で、大学に入学できることになりました。ただし、現在の科学技術を、理科1科目の知識で理解できるわけではありません。例えば、生物系でも、物理や化学で学習するエネルギーやエントロピーの概念などは、基礎知識といえます。数百年にわたる自然科学の集大成の扉を開くためにも、基礎的で広範囲にわたる自然科目の学習が必要となります。

大学で勉強する内容は、高校生の時のイメージとかなり異なっています。私自身の経験では、化学は原子レベルから論理的に学ぶと、物理と違いのない学問である点、高校の数学は直感的で、 ϵ 、 δ で初めて数学らしさにふれることができた点などが、印象として残っています。

自然系の科目は、積み重ねの要素が特に必要となります。講義時間中に、高校生の時ほど十分な演習時間を設定できないかもしれません。講義時間外で、自ら進んで演習問題にチャレンジして下さい。ほとんどの場合、問題が解けないかもしれません。解けなくてもかまいません。大切なのは、この時、どこまでわかり、どこがわからないかを、はっきりさせておくことです。この作業の繰り返しで、自分で考え理解できる力が養われます。(佐久間)

総合科目専門部会

総合科目の新しい試みとして、平成9年度後学期に「放送大学」の映像教材を導入した授業「マルチメディアと現代」を開講しました。茨城大学では、おそらく最初の実験的な授業であり、授業改善、教育方法の開発を目途とした取り組みです。

導入した「放送大学」の教材は、学習院大学の藤竹暁教授が出演した「マスメディアと現代」(全15巻)です。この映像資料とそれに対応したテキスト『マスメディアと現代』(日本放送出版協会、1992年)を中心に授業をすすめ、随時、担当教官(教育学部:松井宗彦、関友作)が作成した補助教材を用いることにしました。また、一回当たりの所要時間が45分ですので補助教材を使わない日の残りの時間は、自主学習の時間に充当させました。毎回、受講生には小レポー

トを作成してもらい、一週間後に提出してもらいます。

小レポートの課題は、①本日の講義の要点を5行にまとめなさい ②講義の中で用いられた「用語/キーワード」を摘出し、その意味を解説しなさい ③講義に関連した文献(参考書)を調べ、書名、著者名、出版社名、刊行年を書きなさい ④関連文献の一冊を読んで、その内容を簡潔に紹介しなさい ⑤本日の講義で疑問に思ったこと、感想などを書きなさい ⑥本日の「補助映像資料」の要点を7~8行にまとめなさい……などです。

50名の受講生も非常に熱心で、この実験授業に参加してくれました。最後の授業時に、アンケート調査を行いました。その結果は、いずれ集計し解析して報告するとともに、これからの総合科目の授業の開発に生かしていきたいと考えています。(松井)

キャンパス情報

人文学部から

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。これから4年間、人文学部で充実した大学生活を過ごしてください。

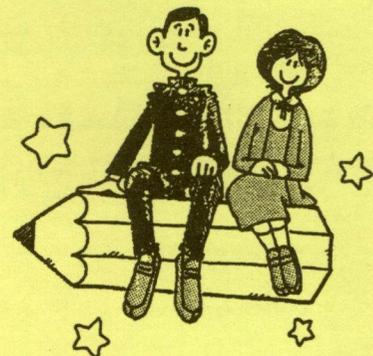
4月9日の午前中の入学式に引き続き、同日の午後及び10日の2日間にわたって各学科別に新入生履修ガイダンスが行われます。このガイダンスでは、教養科目と専門科目の履修方法について詳しい説明が行われます。特に必修科目の履修については、この単位を落とすと卒業出来なくなるので、十分注意してください。翌週の4月13日から早速授業が始まりますが、4月20日から24日までの5日間、履修相談室が開設されますから、おおいに利用してください。

高校とは違って、大学では学生への連絡はすべて所定の掲示板を通じて行われますので、大学に来たら、必ず掲示板を見ておいて下さい。掲示板を見ないで生じた個人的不利益の責任は全て学生諸君自身が負わな

ければなりませんので、十分注意して下さい。

さて、人文学部では6月に募集単位別のガイダンスを行いますので、興味のある分野のものには出席して下さい。

コミュニケーション学科では、昨年に引き続き8月から9月の6週間、カナダのマギル大学で英語の夏期集中講座を開きます。その参加申込みを4月中に予定していますので、コミュニケーション学科の2年次生及び3年次生の関心のある学生は掲示に注意してください。(伏見)



教育学部から

入学おめでとうございます。しかし、大学に入学したことがよかったのかどうか決めるのはあなた自身。教育学部では、2年生になると教職に必要な授業でびっしり埋まるので、1年生のうちは、あなたの興味関心を広げられる授業を自由に選択してください。

最近、内分泌かく乱物質（環境ホルモン）が細胞や遺伝子を傷つけることなく、微量で生殖機能や免疫系、神経系に影響を及ぼす新しい汚染物質として注目されています。この他にも、ダイオキシンを含んだ空気や水、農薬漬けた野菜、食品添加物、プラスチック、合成洗剤など有害かもしれない物質が複雑に私たちの生活に入り込んできています。これらの合成化学物質

は私たちの生活を便利に豊かなものにするものとして、作られ、使われ始めてから人間や環境への影響が問題とされるようになったものです。これらの問題に対応するために、製品の市場導入から廃棄までを一つのサイクル（ライフサイクル）として 捉え、その全過程にわたり、環境にどのような影響を与えているのか評価し、環境保全のための対策を考える手法としてLCA（Life Cycle Assessment）が提案されています。ここでは国際、学際的な対応、研究が求められています。環境問題など現代社会の諸問題に関心を持ったとき、人文、社会、自然、情報、総合科学と幅広く行われる教育学部の授業は興味深いものになると思います。

（吉田）

理学部から

新入生の皆さん入学おめでとう。よく遊び、よく学び、充実した大学生活を送って下さい。さて、皆さんがまずしなければならないことは履修申告ですが、これは自分の考えと責任です。高校のときのように手取り足取りというわけにはいきません。各学科の新入生ガイダンスで説明されることですが、以下に一般的な注意事項を書いてみましょう。

- (1) 履修申告は毎年半期ごとにしますが、場当たりのでなく、ある程度は自分の進路を考えそれに沿って履修計画を立てましょう。しかし、あまり難しく考える必要ありません。
- (2) 1年次は教養科目が多いのですが、他に理学部の共通科目（専門基礎科目）、専門科目を組み合わせ履修することになります。教養科目 38 単位と理学

部共通科目20単位が卒業に必要ですが、2年次終了までに取り終えるのが標準です。

- (3) 理学部の3学科と高校の教科「数・物・化・生・地」との対応は、複合的で少し判りにくいかも知れませんが、自分の適性に合わせて分野を選択できますし、複合領域・境界領域に積極的に進むことも可能な編成になっています。自学科の専門科目のしぼりは30単位だけですから、自学科だけに閉じないで履修計画を立てることも考えてよいでしょう。
- (4) 教養科目のうち外国語科目は6単位必修ですが、数理科学科では未修外国語（通常は英語以外の外国語）4単位以上を含むことが必要です。
- (5) 1週間分の時間割を無理に全部埋める必要はありません。無理にたくさん申告して消化不良になるより、必要なだけを厳選して集中する方が賢明でしょう。

（日合）

工学部から

新入生の皆さん入学おめでとうございます。これからの4年間の大学生活に対し期待で胸がいっぱいのことと思います。

日立キャンパスでは情報工学科およびベンチャービジネスラボラトリーの新棟も竣工し、いよいよ新しい環境

での教育、研究がスタートします。情報工学科棟は展望エレベータ式の8階建ての最新の建物です。建物内部はインテリジェント性をもたせた設計となっており、棟内のネットワークも高速なギガビットイーサネットにより学内LANに接続されます。また、講義室、端末室、実験室にはAVシステムが設置され、マルチメディアに対応した教育が可能な環境になっています。

ベンチャービジネスラボラトリーでは、新しい産業の萌芽となる研究開発とその人材育成を目的として、主に複雑機能ロボットに関する研究開発が進められます。更に総合情報処理センターの設置により、情報集

約と発信の拠点として、工学部は新しい一步を踏み出すこととなります。皆さん、是非一度日立キャンパスを訪れてみて下さい。きっと新鮮な情報と新しい技術の息吹を感じることでしょう。(小林)

農学部から

1年生は、受験が終わりほっとし、大学という新しい環境で学ぶことに対して、期待と不安を持っていることでしょう。2年生以上は学年が進行し、新たな気持ち(?)になっていることと思います。

ところで、農学部では、とても水はけの良かったグラウンドに新しい校舎が建てられたので、今あるグラウンドは古い校舎を壊した跡地を整地し、砂を敷いただけのものです。そんなわけで、ひとたび雨が降るとたちまち水浸しになってしまい、地面が乾ききらないうちにまた雨が降るといった悪循環で、とても使える状態ではありません。ですから、身体活動(体育)の授業

は、阿見町のグラウンドや体育館などを借りて行っており、受講生は車や自転車などでその場所に出かけなければならず、大変不便です。また、サッカー部などのクラブ活動も、近くの小学校のグラウンドを借りて練習をするといった状況です。そのような中で、昨年11月から待ちに待ったグラウンドの整備が始まり、この4月からようやく皆さんが使えるようになります。新しいグラウンドは、水がすぐはけるよう工事され、さらに全面芝がはられて、とても快適なものになりそうです。これからは、身体活動やクラブ活動のみならず、各自どんどん使って健全な体を作って下さい。後は、体育館さえ出来れば、雨が降っているときでもOKです。一刻も早く建設してほしいものですね。(中石)

新入生へ愛をこめて……先輩からの言葉

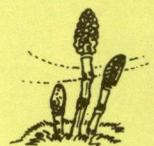
下田 将久(理学部2年)

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんが入学して最初に労を要するであろう時間割の作成について、簡単に述べてみます。

茨城大学の教育課程は教養科目と専門科目から構成されています。教養科目の方はなるべく1年次のうちに単位を全部取ってしまおう。そして、幅広く浅く学ぶように心がけましょう。興味のある授業だけを履修するのも良いが、まったく興味のない授業も履修しよう。そうすることで、自分の新たな発見もあろうし、物事を幅広い視野で見ることができるようだし、結論的に、社会に出たとき必要である。専門科目の方も、1年のうちは幅広く学んでおいて、後々の自分の専攻科目を選ぶのに役立てよう。対話ゼミナールはそれを選ぶのに参考になるし、単位も他の授業と比べて取りやすい。授業を選ぶのに参考になるシラバスをよく読

んで、また、学生の間での評判なども考慮して時間割を作ろう。もし、同じ時間帯に複数受たい授業があるときは、初回はたいていガイダンスをやっているから全部受けにいて決めれば良い。サークルやバイトなどを考慮すると、前期は16コマ前後、後期は14コマ前後がいいんじゃないですか。(これ以上入れる人もたくさんいる。)

最後に、大学生活をするにあたって、自分から積極的に働きかけていくことが大切です。失敗したとしてもあれこれと思い悩まず、また最初からやり直せばいいのです。失敗を恐れず、いろいろなことに挑戦して楽しい大学生活を過ごしましょう。



石川 秀之 (工学部2年)

茨城大学に入学されたみなさん、おめでとうございます。

まず大学に入学したら、自分の学科のことをたくさん学べるとは思いますが、1年生のときは、教養科目のことを多く、勉強します。早く専門的な事を学びたいと思いますが、教養科目もとても大事です。それに、この単位を落とすと、工学部の人は、2年生から日立に行くので、水戸でしかとれない単位もあるので、できるだけ落とさないようにしたほうがよいです。とくに必修の単位を落としてしまうと、2年生になってから、日立から水戸に通わなければならない、大変です。

工学部の人は、日立に行ってしまうと、寂しく何もないところなので、水戸にいる1年間のうちに、たくさんのお話を学んだり、サークル活動をしたり、自分から進んでいろいろの事をして、充実した1年をすごしてください。

河村 忍 (工学部Bコース2年)

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。受験を乗り越えて、「やっと一息」ついたところで、大学に入ったという実感を感じられている頃かも知れませんね。

さて、入学して一番先に考えてほしいことは履修についてです。1年生のうちは、教養科目の割合が高く、それ以降は専門の科目を多く履修します。詳しいことは入学時に配布される履修要項を見て欲しいのですが、卒業までに必要な単位数を無理なく、組み込んでいくようにしたいものです。ガイダンスの時の案内をよく聞くようにして下さい。学科によっては、「事実上の必修科目」なども存在するようなので注意して下さい。

また、休業期には集中講義があったり、教職を取得したい人なども、掲示板に貼り出される情報に注目して下さい。

私はBコースの学生なので、あまりサークル活動などはしていませんが、大学内では、いろいろな活動をしている先輩たちがいるので、興味を持った方は気軽に声をかけてもよいと思います。工学部はAコースは2年次から、Bコースの人は1年次から日立に行くことを考えて、サークル活動等を選ぶとよいでしょう。

夏期休業の頃ぐらいまでは、慣れない生活で疲れてしまうかも知れませんが(特に1人生活してる人)毎日、大学に行く習慣だけは身に付けて下さい。日立キャンパスには、社会人で昼間、働いてから学校に来られる方々もおられます。

私も含め、皆さんが卒業されるのは21世紀になります。その時、日本を支える一社会人になることを日々意識して生活して下さい。四年後に「一回り大きな人間」となって、卒業されることを期待しております。

杉浦 愛子 (農学部2年)

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。待ちに待った大学生生活にゆめ膨らませている人も多いと思いますが、なにせここは、茨城県。現実とはこういうものだと感じることも多々あるでしょう。それでもめげずに楽しい生活を送ってください。

さて、大学生になってまず困ることと言ったら授業の取り方でしょうが、それは誰しも同じこと。ガイダンスをよく聞けばそのうち分かるでしょう。ただ、先生の話をもるもる鵜呑みにすると後で大変なことになるかも。特に農工学部生は、1年生のうちに可能な限り教養の授業を取っておいた方がよいでしょう。取りすぎもよくありませんが、「通い」だけは何とでも避けたいものです。必要数ギリギリしか取っていないと、2・3年になってからもハードな時間割をこなさないといけなくなってしまいますので注意しましょう。ラクな授業が知りたいという人は、各サークルの甘いお誘いについて行くといろいろ教えてもらえるはずですよ。

私も入学当時はあれこれやりたいことがあったのですが、結局この一年、授業以外にやったことと言ったらバイトぐらいなものでした。バイトのやりすぎには注意しましょう。休みなく働いていると、お金はどんどん入りますが、それを使って遊ぶ暇が無くなってしまいます。疲れてしまって朝起きられない、授業に出るのも面倒ということもしばしば。そうならないように気を付けましょう。

最後に、是非いい友人を見つけてください。特に初めが肝心です。「入学当時の友人」がやはり「大学時代の友人」として後々まで付き合いが続くと思うので、細心の注意を払って人選をしてください。

それでは、楽しく有意義な大学生生活を。

V o i c e — 主題別ゼミナールについて —

山崎 康夫 (人文学部2年)

主題別ゼミナールは、もっとも大学らしい授業といえる。というのも、自分の興味関心にあったゼミを選ぶことができ、少人数で授業が進められているからである。同じゼミに属している人は自分に近い興味関心を持っているから、お互いにいろいろな意見を交換することができるだろうし、授業への取り組みも真剣になる。また他の授業とは異なり少人数であることから、教官との距離が近く自分の疑問・質問・意見に対して答えてもらえることが多い。授業の進め方としては、自分が興味を持ったことについてのレポートを作成し、授業のなかでそれを教官や同じゼミの学生達の前で発表する。この発表に対して学生どうして質問や意見を交換し、教官からの意見や指摘を交えることによって、レポートのテーマに関する理解を深めていく。では、このことにどのような利点があるのか。まず発表する人は自分が考えていたことをみんなに聞いてもらうことができ、まわりから意見を出してもらうことで異なる側面の存在に気づくことができる。また発表を聞く側は、レポートのテーマに関する自分の意見と発表者の意見を比較することができ、両者に共通していえることだが、教官からの助言や意見・指摘などから考え方の幅を広げることができる。

主題別ゼミナールでもっとも大切なことは、大学は自分で学ぶところだということを意識しておくことである。どのゼミを選択するか、どのようなテーマを設定するか、レポートに必要な参考資料は何か、予想される反論に対してどのように回答していくかなど。またレポートに関することは自分で考え、自分で見つけていく。授業に臨んでは、自分の意見と相手の意見を比較し、疑問に思うところや自分の考えを理論的に相手に伝えなくてはならない。主題別ゼミナールでもう一つ大切なことは、自分の興味をはっきりさせ、同時に他の人の興味を知ろうとする好奇心を持つことだ。

鈴木 千春 (教育学部2年)

大学の授業は、一人の教授に対し、多くの学生が講義を受けるというイメージがあるだろう。しかし、主題別ゼミナールはそんなイメージを打ち消すものだった。

私がとった主題別ゼミは、社会コースならではの「まちの風景」というテーマで、主に茨城県を中心に講義が進められた。教育学部の場合、各コースごとに講義が設定されているので、同じコースの人と親交を深める場にもなった。講義内容としては、石岡の都市景観の変容、江戸時代と今の水戸城付近の違いのように、身近な話題を取り上げ、その際、地図の見方や参考文献の利用法なども教授してくださった。また、実際に大学付近を歩いた。その際、先生が、その場その場でみられる特徴から、以前はどのように利用されていたかを説明してくださった。最終講義のときは、忠北大学の方と一緒にうけ、分からないところを私たちが説明するはずだった。余裕だろうと高を括っていたが、相手を納得させるような説明ができなく、恥ずかしい思いをした。このゼミは、レポートによる評価で、7月上旬に行った水戸城跡、弘道館等から自分でテーマを設定して書いた。この自分でテーマを設定するやり方は自分を表現できるという意味で大変やりがいがあった。しかも、先生がレポートの書き方を説明してくださったので、とてもやりやすかった。

主題別ゼミナールは、少人数制であるので、先生と身近に接することができ、内容も他の講義ではできないようなものだった。また、今後の大学で何を、どのように学ぶべきかを考える機会にもなった。そして、私自身このゼミを通して、何事においても視点を変えて観るということを学んだと思う。

教養教育古今東西

— 教養教育の現在的意義 —

昨年3月より今年の1月まで、アメリカのマサチューセッツ州立大学アマーフト校において、現代英語の派生形態論の研究にたずさわってきた。4月からは妻と3人の子供（高1，小6，小4）も合流し、地元の学校に通ったので、アメリカの小学校と高校についてもいくつか興味深い経験をした。大学についてではないが、参考までに少し述べてみたい。

まず意外だったのは、小学校より高校のほうが、始業の時刻が1時間ほど早かったことである。アマーフトは人口が3万数千人の小さな大学町で、治安が良く外国人に対するサービスが行き届いた、大変住みやすい所であったが、高校の始業は午前7時40分、小学校の始業は8時40分であり、それぞれの20分程前にスクールバスが回ってきた。下校も高校の方が早くて午後2時20分、小学校は3時5分であった。さらに驚いたのは、小学校も高校も、特別な会議などがなければ、生徒が帰ると先生も帰宅することが多いということであった。スポーツクラブの土、日の活動は、先生ではなく親たち（父親だけでなく母親も）のボランティアによっていた。また、よく知られていると思うが、小学校の1クラスの生徒数は20～25人であった。日本のような塾はない。先生にとっても生徒にとっても、負担が少なくゆとりがあると思った。

また、アマーフトの町の住人であれば、地元の小学校から高校までは学費が取られず（アメリカでは高校までが義務教育とのことだが、費用は税金で賄われる）、我家の3人の子供たちもその恩恵に浴した。

もちろん、外国と日本の違いを指摘するだけで日本の教育の問題を解決できるわけではない。しかし、小学校から高校・大学までの教育の様々な問題点について考えるとき、本当のゆとり（先生と生徒と親にとっての）とは何かということをもう一度考え直す必要があるのではないかと思う。 並木 崇康（教育学部）

大学における教養教育は、大学初年級において専門科目以外に学ぶ「教養科目」の教育という形で行われている。

私が卒業した筑波大学では、教養科目は「関連科目」という形で開講されていた。この関連科目は、自分が所属する学部（筑波大学では学類という）とそれ以外の学部で開講されている科目の中から比較的自由に選択することができた。他の学部の講義を聞くことができるというのはとても魅力的なことであった。その講義により何か学んだというより、自分の知っている世界とは異なる世界を見ることができ、さまざまなものの見方、考え方があることを知ったことが良かったように思う。

さまざまな情報があふれる現在では、学生をとりまく環境は昔とは大きく異なり、また専門教育を充実させる必要性などを考えると、こういった教養科目の教育にどれだけ力を注ぐべきかは難しいところであろう。しかし、そのような現在だからこそ、多角的にものごとを見ることが重要であり、そのような機会を与える余裕は大学に欲しいと思う。

ここ数年「複雑系の科学」とよばれる生命や社会などの複雑な現象の進化・発展のメカニズムなどを問題とする学問分野が興りつつある。そこでは、研究対象も従来の科学のように固定された枠に収まることなく、生命、物理などの自然科学から情報科学、また政治、経済などの社会科学まで広範な分野におよんでいる。このような状況は、「複雑系の科学」にとどまらず、新しい分野が生まれ開拓されていくような場面においていろいろな所でおきてくると考えられる。そのようなとき求められるのは、従来の枠にとらわれない柔軟で多角的なものの見方であると考えられる。

このように、現代における教養教育は、ますます多様化する学問や社会に対応できる人材に求められる柔軟で多角的なものの見方を養うという役割をもっているのではなかろうか。 斎藤 健（工学部）

掲 示 板 コ ー ナ ー

奨 学 金 制 度

「奨学金についての問い合わせは、学生部厚生課へ」

☎ 2 2 8 - 8 0 5 9

奨学金制度として、1)日本育英会、2)地方公共団体・民間団体の奨学金制度がありますが、いずれも人物・学業とも優秀で経済的理由により、学資の支弁が困難と認められる者に貸与されるものです。

1) 日本育英会

【奨学金の種類及び貸与月額】

- 第一種奨学金 無利子貸与
- 第二種奨学金 有利子(年3%)貸与
- 併用貸与 第一種奨学金の貸与を受けても経済的に著しい困難があると認められる者については、第二種奨学金を併せて受けることができます。

(注)大学院博士後期課程の場合は、第一種奨学金のみです。

| 区 分 | | 入学年度 | 平成 | 平成 |
|------------|-----------|---------|---------|---------|
| | | 7～8年度 | 7～8年度 | 9年度～ |
| 学 部 専攻科 | 自 宅 通 学 | 38,000 | 40,000 | 40,000 |
| | 自 宅 外 通 学 | 44,000 | 46,000 | 46,000 |
| 大学院 | 修士・博士前期 | 81,000 | 83,000 | 83,000 |
| | 博 士 後 期 | 112,000 | 115,000 | 115,000 |

【出願資格】

第一種奨学生 …… 人物・学業ともに特に優れ、経済的理由により著しく修学困難な者

第二種奨学生 …… 人物・学業ともに優れ、経済的理由により著しく修学困難な者

【出願方法】

- 1年次(1次募集) } 掲示を見てください。
- 2年次以上 } 掲示を見てください。
- 大 学 院 生 } 掲示を見てください。
- 専 攻 科 生 …… 入学手続の際、お知らせします。

- 1年次 (2次募集) } 7月中旬、掲示により
- 2年次以上(補充採用) } お知らせします。

※ 主たる家計支持者の失職、死亡又は災害等による家計急変のため、緊急に奨学金の貸与が必要になった場合は、随時出願できます。

【奨学金受領資格の確認】

奨学金の適正な交付を行うため、年2回、奨学生の受領資格及び異動事項等について確認を行います。確認期間中に手続きを怠った者については、奨学金の振込保留、廃止等の処置をとりますので、必ず確認を受けてください。

受領資格確認の期間

- 期 間 : 5月上旬 } 詳細は掲示により
- 10月上旬 } お知らせします。

【在 学 届】

次に該当する者は、速やかに在学届を提出してください。

在学届を提出することにより、本学在学中は、奨学金の返還が猶予されます。

- 高等学校で日本育英会の奨学生であった者
- 貸与終了者で、大学又は大学院に留年している者

【進 学 届】

高等学校在学中に、平成10年度大学第一種奨学生採用候補者に決定されている者は、4月17日(金)までに進学届を提出してください。

進学届を提出した者は、在学届を提出する必要はありません。

2) 地方公共団体等

本学に募集の案内があったものについては、その都度掲示によりお知らせします。

本学に募集要項を送付してくる団体はごく一部です。希望する学生は、各自、奨学関係団体(県の教育委員会など)に直接照会してください。

《平成9年度本学へ募集案内のあった団体》

- 茨城県 (財)宮崎県奨学会
- 岐阜県 (財)川口育英会
- 宮崎県 (財)電通育英会
- 石川県 (財)大阪府育英会
- 新潟県 (財)中村積善会
- 富山県 (財)山口県奨学会
- 福島県
- 鹿嶋市

教 養 教 育 N O W

教養教育の全国的動向の一端

「全国国立大学教養教育実施組織代表者会議」という長い名前の会議が昨年5月にあり、教養教育の現状と問題点を話し合う機会を与えられた。そこで話の一端を紹介したい。

教養部改革においては、東京医科歯科大学以外は平成9年度中に教養部が廃止されている。まず、ほとんどの大学において、大学全体の予算の何割が教養教育に与えられているかということが大きな関心事であった。本学とほぼ同じ規模の大学で教養教育に対する予算は8,000万円～1億円といったところが実状であった。

昨年11月、本学の教養教育セミナーにおいて、千葉大学、野口副学長に全国で初めて行われた千葉大学の教養教育に関する外部点検評価について概要を紹介していただいた。千葉大学では3～4年目に入った時点で外部評価を受けている。その結果によると、運営方針よりもカリキュラム内容に対して批判が大きかったという。また、4年一貫教育における教養教育のあり方についてカリキュラムまたは履修の指導の仕方等に工夫を求める意見が出されたという。しかし、学部開放科目が150科目も用意されている点は特徴であり、高学年での教養教育という位置づけともなっている。

熊本大学では、基礎セミナー（本学の主題別ゼミナール）について、1年次2,000人を100クラスに、わずか1日でクラス分けを実施しているとのことであった。

文部省の専門官から指摘されたことは、学生の能力・適性が多様化していることに伴い、教育内容・方法を改善することが重要であるとのことであった。すなわち、これにより教官グループの教授能力の向上が必要となるので、大学としてはFD（Faculty Development）への一層の取り組みが要求されていることになる。

最後に非常勤講師について、外部に沢山依頼している割に他大学で非常勤講師として教養教育を行っている教官がいるのを問題にしている大学があったのは印象に残った。

（奥 達雄）

「大学教育研究開発センター年報第2号」及び「教養教育に関する調査報告書」の発刊

今年度の年報が、近日発刊されます。今回の内容は、①昨年11月末に実施された「教養教育に関するシンポジウム」の報告、②大学教育の考え方、教育方法、点検評価のあり方についての論文・研究ノート、授業実践報告等、③「大学教育研究開発センター」の年間活動記録の3部門で構成されています。

特に、新設された主題別ゼミナールの授業については、必ずしも円滑に展開されていない声が聞こえてきます。この授業の実践報告も掲載されますので是非ご一読ください。

また、「教養教育に関する調査報告書」も同時に発刊されます。この報告書は、教養科目の授業についての学生の満足度や関心度のアンケート、教養教育に関する教官へのアンケート等をまとめたものです。今後の大学教育の点検評価についての一つの資料となることを期待しています。

アンケート等にご協力いただいた学生及び教職員に深く感謝しています。と同時に、この小冊子が、みなさまに何等かのご活用いただけることを願います。

（巽 申直）

つ ぶ や き

全国各地、世界各国から新入生を迎え、キャンパスにも活力がみなぎってまいりました。大学教育研究開発センターは、大学における教育、とりわけ教養教育の要であり、新入生の皆さんとは“とつても”の関係。茨城大学の校章は野いばら“Rosa Multiflora”ですが、このセンターのニュースレター「ローザ・ブルムラ」はラテン語“Rosa Plumula「薔薇の若芽」”の意。若芽のごとく無限の可能性を秘めた皆さんが茨城大学という土壌でどのように枝を伸ばし、花を咲かせるのか。「学生諸氏と教職員相互のインターフェース」をモットーに編集されている「ローザ・ブルムラ」を多に活用頂ければと願っております。皆さんからの発信情報（読後感想、寄稿、提案、等々）を共通教育棟一階廊下の「教養教育Q&A」ボックスへ気軽にオ寄せ下さい。

（H. O）

発行日 平成10年4月
 発行者 茨城大学 大学教育研究開発センター
 水戸市文京2-1-1
 029(228)8416〔企画室教養教育係〕